

損・ばね輪の小摩耗によってたわみに影響するなどの故障があった。わが国では輪ばねが本格的に多量使用されるようになったとき、第2次大戦が起り、輪ばねの設計にそれ以上の検討を許されない状態になって、比較的成績もよく、保守も容易なコイルばねに置替えられたのである。

3 球面形中間緩衝器 図は国鉄の基本形であり、中央式であって、緩衝ばね(照号3)は大小2組のコイルばねである。機関車側の中間緩衝器受(照号4)は球面形をなし、炭水車側の球面形をした緩衝器頭(照号2)とは直接接せず、その間に中央すべり子(照号5)をはさんでいるもので、2個の球面体間のすべり子は断えず油つぼ(照号8)からの給油を受けて、円滑にすべって、曲線通過を容易にするようになっている。最近の国鉄の機関車はいずれもこの基本形が使用されている。

機関車の衝動(ドンツキ)は機関車の運動部分の不つりあいあるいは引張力の不均一による機関車の前後動と、中間緩衝器ばねの自己振動周期とが合致した時に発生するものと推定される。ばねの自己振動周期はばねのこわさが大であるほど小であり、機関車の前後動の周期は動輪の回転数に比例する。ゆえに機関車の形式に応じ普通速度以上のある速度に達しなければ、機関車の前後動と周期が一致しないようばねのこわさと容量の大きなもの、かつ初圧を大にするのがよいのであるが、あまり大きな初圧も曲線通過に害がある。

近時緩衝用としてゴムおよび\*オイルダンパが車両用に多く使用されるようになり、外国においては中間緩衝装置の一部にゴムを使用したものもあるが、わが国ではゴムもオイルダンパも中間緩衝用としては試用するに至っていない。外国では中間引張棒の折損した場合、機関車炭水車間の分離防止のため、安全くさりやリンクで両者を結んだものが多い。(高桑五六)

ちゅうけい 中継 (英)relay 鉄道用語としては4つの意義がある。1 合図の中継。\*合図 2 \*小口貨物の中継 3 手小荷物の中継 4 貨車中継作業。

組立駅では到着した貨物列車を分解・仕訳して、自駅着発以外の貨車を、同一駅または同一方面にとりまとめて、新しい貨物列車を組成している。この場合に自駅着発以外の貨車、ならびに貨車集配のつごうによって、自駅あてに到着した他駅あて配給用空車で、入換作業を行って、番号の異なった列車または船便に継送した貨車を中継車という。中継車を取扱う作業を、中継または中継作業という。組立駅においては、この貨車の中継が重要な使命である。貨車を中継する場合には、諸種の条件が設けられているから、入換作業を行う場合には、これらの条件にしたがって作業し、列車を組成しなければならぬ。この条件のおもなものはつぎのとおりである。

(1) 貨車の輸送順序 列車指定貨車・代用車等のように、連結すべき列車が指定されている貨車を連結指定車という。これらの貨車は必ずその指定された列車に、連結しなければならないのはもちろんであるが、その他の列車についても、その種別によって、輸送順序が定められている。

(2) 中間駅発送貨車の継送 貨車は最初の連結列車によって、着駅まで直送するのが原則になっているが、ローカル列車に連結された急送品積貨車、遠距離行貨車、および集結指定のある区間行貨車は、つぎの組立駅で急送品列車、または輸送力列車に継送しなければならない。

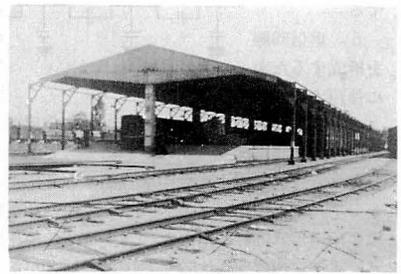
(3) 貨車の連結順序

(4) 貨車の中継時間 貨車運用効率を左右する重大な因子の1つであるから、その短縮をはかるよう、入換作業を行わなければならない。—貨車輸送。連結順序。貨車中継時間。(山岸勘

六)

ちゅうけいえき 中継駅 (英)transfer station (独)Umladebahnhof

ある線から他の線へ貨車を輸送する場合、その貨車の中継される駅をいう場合もあるが、一般には小口貨物の輸送に際して、発駅と着駅の中間



小口貨物中継ホーム

にあつて、小口貨物を取りまとめ、これを整理して継送の世話をする駅。国鉄においては中継駅および中継範囲を定めている。(森垣常夫)

ちゅうけいしゃ 中継者 (英)intermediary 運輸用語で責任者と責任者との間で受授する物を中継する者をいう。列車の運輸業務を行うに当っては、ちょっとのあやまちが重大な結果を招くこととなるので、列車を運転させる場合の通票または通券は、その取扱責任者である駅長、機関士が直接受授を行うことを原則とし、その受授の正確を期しているが、作業の環境または地形等から責任者間の直接受授が不可能なときがあるので、このようなときは、責任者と責任者との間で中継者が、これらの受授を行うのである。(三和達忠)

ちゅうけいしゃ 中継車 自駅着発以外の貨車および貨車集配のつごうによって自駅あてに到着し、他駅あてに配給する空車のうちで、入換作業を行って番号の異なった列車または船便に継送した貨車を中継車と称する。従来配給のつごう上自駅あてに到着した空車で、中継作業を行って他駅に配給するものは、中継車として取扱われていたが、これでは不合理であったので昭和26年の貨物輸送手続改正の際、現行のように中継車として取扱うこととなったのである。(菅野太次)

ちゅうけいせんりん 中継線輪 (英)repeating coil 中継線輪は通話および信号等の電流を、1つの電気回路から他の回路へ、電力損失少なく伝送するために用いられる変成器である。電力用変圧器は50または60c/sの一定周波数の交流だけを伝送するのに対し、通信用変成器は非常に広い周波数16c/sないし120kcの帯域にわたって能率よく、しかも無歪(わい)状態の伝送を要求する等の点が異なっている。その構造は使用周波数範囲の広いことと、非直線歪(わい)に対する技術的要求が厳しいので、鉄心には高級磁性材料を使用し、原則としてこの鉄心にそれぞれ巻かれた2個以上の巻線からできている。これも中継線輪の用途によってその構造を異にしている。通信用変成器のおもな用途を列挙するとつぎのようになる。

1 異なる特性インピーダンスを有する回路の結合点にインピーダンスの整合

1. 1, 2, 3 の変成器

合用として使用する

2 電気回路の直流と交流を分離する

3 大地に対する不平衡回路と平衡回路の接続点に使用する

4 電圧の通

